

持続可能な地域医療を創る～創造的問題解決技法を学んで使う～アンケート結果

2013.6.8

回収人数 23人(医師20人 事務職3人)

今回の講座はいかがでしたか。

<p>良かった点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの価値観が気持ちよく覆った。 ・自分に必要と感じていた創造的になる姿勢、方針をつかませてもらった。 ・ワークショップをやって具体的なイメージがもてた。 ・ワークショップをしてみると、アイデアの引き出しが記憶から創造に変わる瞬間を実感できた。 ・実例と実践を交えてあり、とても面白かった。 ・すぐ活用でき、方法が分かりやすい。 ・創造的問題解決の方法が言語化され分かりやすかった。(2) ・想像を超える良いアイデアがたくさん出ていた。(2) ・他の人の面白いアイデアを共有できる事が素晴らしい。さらにそのアイデアに刺激されて新たにアイデアが出せるのも良い。 ・ブレインライティングを学び実際にやってみたのがとてもよかった。(7) ・ブレインライティングは次の会議からでも使えそうで、実際使いたい。 ・意見を出す人の立場によって意見の重要性が変わってしまうので、そこにおいてもブレインライティングは有用と感じた。 ・問題設定の重要性、ブレインライティング・ストーミングの面白さと有用性を実感できた。(2) ・問題に向き合う時、解決にばかり目が向いていたのが、問題設定が重要ということに気づけた。(4) ・与えられたものを別の形に作り直すということが、解決の一つの手段と知り、勉強になった。 ・「問題を解決可能な、より本質に迫るものに変えてから考える」というところにハッとしました。 ・創造的問題解決のテーマを作る練習ができて良かった。難しかったので、思考を広げる経験訓練をしたい。 ・ブレインストーミングの4原則の一つ「アイデアの判断の延期」が印象に残った。意見が出た場合それを一つずつ検討してしまいがちだが、そうすると意見が出しづらいため、どんな意見でも出してもらいその後検討することも大切と学んだ。 ・医療を取り巻く環境では、最近の知見に基づく実践と 創造しなくてはならない課題に多く直面する。今回の技法はその際非常に有効だと思った。 ・創造性を伸ばすための教育(学びと創りのバランス等)について自分の子育てを見直すきっかけとなった。 ・子育て中なので教育について共感し、これからの子育てに活かしたい。
<p>改善点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・レクチャーを聞いているときは「いったいどんなものなんだろう」と思った。 ・問題を作る時より ダウンしたものの方が良いと思う。具体化されないと問題の意図とは違った解決法が出てしまう。 ・3分が割と短いのでアイデアが1~2このアイデアしか書けないことがあった。 ・途中で休憩やアイスブレイクのミニワークショップを入れたい。(2)

感想	<ul style="list-style-type: none"> ・「創造的問題解決技法」は一体どんなことかとやや疑問を持ちながら参加したが、とても勉強になった。 ・これから問題に直面した時に創造的問題解決を常に考えたい。 ・なかなかアイデアが出ず自分の思考の枠組みの狭さを痛感した。 ・今の私ではなかなかテンポよくアイデアが出ないが、反復することでもっと柔軟な発想が出来るように感じた。 ・アイデアを出すのは苦手がよくある方へ流されがちだが、トレーニング次第で身につけると知り勇気が持てた。 ・創造的問題解決はとても有用だが、いろいろなしがらみの中で仕事をしている身としてはトレーニングが必要と感じた。 ・問題の捉え方から考え直すというのが非常に印象に残った。 ・問題解決のためにはまず問題設定が大事、本質を捉える、真の意味を考えるが非常に印象に残った。 ・ワールドカフェをやる時、テーマ設定が最も重要というのと通じるものがあると思った。 ・課題設定が重要という点に大いに同意(と同時に反省) ・同じテーマでも問題設定がそれぞれであることが印象に残った。 ・ブレインライティングの手法も含めて、どのグループのアイデアも診療所にフィードバックできそうなアイデアだった。
----	--

<h3>今後、あなたの仕事や生活で創造的問題解決を活かせそうですか</h3>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流を図るためのワールドカフェで、より具体的に良い方法と確信をもって企画できそう。 ・診療所スタッフでの患者さんむけのイベント ・地域で困っていることを住民と一緒に考える時、平等にアイデアをもらいたい時に使ってみたい。(3) ・職場での議論、他職種との共同活動。(7) ・法人の方向性、職員の意思確認 ・診療所改革、業務改善(5) ・自分の診療パターンの改善 ・問題を抱える患者さんへの提案 ・診療所の年度目標を立てるときや、仕事や生活で引っかかった時にまず問題は何なのかを明らかにするところから始められるようになりそう。 ・実際解決に行き詰っている問題があるので、早速現場でスタッフとやってみようと思う。 ・忙しい診療所スタッフのモチベーション維持につながると思う。 ・オーナーシップの移譲により自分自身の問題と考えてもらうことは開発協力の場でも大変重要。 ・創造的リーダーシップ ・出向先の委員会業務では、医師一人のためリーダーシップを取らざるを得ないが、お話にあったオーナーシップに欠ける提案が多くなりがちな問題がある。このブレインライティングを利用した問題設定と解決を試してみたい。 ・仕事の上ではまだリーダーシップをとる立場ではないですが人の上に立つ時アイデア集めの手法に使いたい。 ・今後の医学卒前・卒後教育アプローチ ・子供の教育(2)